



## 病院だより

NO. 253  
Winter 2018.1

新年のご挨拶	2	親善病院の部活紹介	9
採血・採尿室のご紹介	2	皆さまからの声	9
新骨密度測定のご紹介	3	あなたの街のお医者さん	10
特集 脳神経外科	4	メディカルレシピ	10
冬の病気を医師が解説	6	病院のできごと「秋」	11
年男・年女「戌年」	8	INFORMATION	11
看護部NEWS 第2回	8	れんけいニュース	12

**病院の理念**  
 良質な医療の実施  
 親切な医療の実施  
 信頼される医療の実施

## 手洗いでノロウイルスによる感染性胃腸炎を予防しよう!!

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は11月～2月に多く（年間発生数の7割を占める）発生しています。ノロウイルスは感染力が強くワクチンがないため予防が大切です。**予防①：手洗い**／ウイルスは手を介して口から体内に入ると感染します。石けんと流水で十分に洗いましょう。2度洗いも効果的です。**予防②：殺菌・消毒**／食品は中心部が85～90℃で90秒以上の加熱、調理器具（まな板・包丁・ふきんなど）は塩素系消毒剤の利用がオススメです。野菜を生で食べるときは良く洗った調理器具を使用しましょう。

ノロウイルスにかかっている人の便1g中には1億個のウイルスが存在すると言われてますが、感染成立に必要なウイルス量はたったの10～100個と言われています。少しの油断が感染者を増やします。排泄物は速やかに片づけ塩素系消毒剤で隅々まで消毒しましょう。

HOME PAGE



# 迎春

## 新年のご挨拶



病院長  
安藤 暢敏

新年明けましておめでとうございます。相鉄いずみ野線の開通に伴い弥生台、西が岡地区の街が誕生して40年が経ち、国際親善総合病院が関内からこの地に移り開院して28年が過ぎました。当院はまさにこの地域の成長とともに、地域住民の皆様や地元医師会の先生方に育まれ、泉区唯一の総合病院、地域の中核病院として発展して参りました。なかでも10年ほど前の当院は、年間1,000件以上の分娩を扱い産科医療の実績を誇り得る医療機関でしたが、産科医、小児科医不足などの諸事情により平成26年に分娩を休止せざるを得なくなりました。その後多くの分娩再開のご要望も

いただき、病院をあげて再開の態勢を整え昨年4月に再開第一号の赤ちゃんが無事誕生しました。産科を閉鎖する医療機関が相次ぐ中、当院では少子化に流されることなく地域の活性化の一助になればと継続して参ります。

団塊の世代住民の方々により創り上げられて来たこの街ゆえに、弥生台駅の乗降客数は近年減少傾向にあり、対策として相鉄は駅前再開発プロジェクトを展開し、その一環として駅前クリニックの誘致がありました。当院は改札口にもっとも近い区域の1・2階に、サテライトクリニックとして内科、整形外科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科を擁する“しんせんクリニック”を昨年11月にオープンしました。春からは病児保育を併設いたします。駅直近の利便性を是非ご利用下さい。

また、3年をかけて進めて参りました本館棟の改修工事は、全ての病棟、外来部門、内視鏡など検査部門の改修整備が昨年末で完了し、本年は最新鋭MRI導入など放射線部門の改修に着手いたします。院内院外でまさに国際親善総合病院の総力をあげてのイノベーションが進行中です。地域医療の中核病院として、病院の理念である良質で、親切で、信頼される医療を目指してこれからも日々進化を続けて参ります。本年もよろしくご願ひ申し上げます。



副院長  
清水 誠

副院長 清水 誠  
病棟、しんせんクリニック  
昨年、病院にとっては、分娩の再開、地域包括ケア開院などの様々な新しいことが開始になったまに区切りの年でした。本年は、今まで大変ご迷惑をおかけしていた再整備事業にも一区切りがつく予定です。形は整いましたので、本年はいよいよ内容の充実をはかり、さらに飛躍する年になることが期待されています。このためにも職員が今まで以上に強く連帯をはかって、持てる力を十分に発揮してこの地域の医療をより充実させていく覚悟ですので、皆さまのご指導、ご支援をよろしくご願ひいたします。



副院長  
飯田 秀夫

副院長 飯田 秀夫  
泉区には災害拠点病院はありませんが、当院は、大規模な地震が発生したことを想定し、多くの負傷者を受入、医療が継続できる病院を目指していきたいと考えております。当院の建物は、再整備も終わろうとしており倒壊の可能性は低く、また、水は地下水から供給、電気は自家発電で大丈夫かと思っております。しかし、地震に対するソフト面は、十分にできておりません。このため、今年度から地震の時に多くの傷病者を受け入れられるように訓練していきたいと思っております。泉区医師会、行政機関、泉区を中心とした住民の皆さまも参加して行う訓練を企画していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくご願ひいたします。



管理部長  
林 秀行

管理部長 林 秀行  
昨年、4月に分娩の再開、8月にすべての病棟が稼働、11月に「しんせんクリニック」のオープンと大きなイベントが相次ぎました。業務が拡大すれば経営の舵取りも難しくなりますが、地域の皆さまに質の高い医療を提供するため、本年も安定した病院経営を目指します。とくにクリニックと病院は密に連携をとりながら、患者さまの症状に応じたきめ細かな医療を提供して参ります。地域の皆さまがより安心して暮らしていけるよう誠心誠意努力してまいります。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。



看護部長  
楠田 清美

看護部長 楠田 清美  
昨年8月に、病棟の再整備工事が完了し、すべての病床で入院を受けることができるようになりました。また、産科病棟も再開し、赤ちゃんの産声を聞くことができました。少子・高齢化社会の中で、スタッフ一人一人が役割を果たし、一人でも多くの患者さんが、必要な時に安心してご利用できるように努めて参りたいと思っております。また、本年も多くのご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

## 採血・採尿室のご紹介

地下1階に採血室を新設し、これまでの中央処置室は注射・点滴・処置を専門に行います。それぞれの待ち時間が短くなり、心電図・レントゲンなど検査が地下1階で全て行えるようになります。

### 3月より、本館地下1階に採血室を開設、採尿室もリニューアルします！

- 自動採血・採尿受付機を導入し、患者様自身で簡単に受付できます。
- わかりやすく採血整理券番号で、案内表示・お呼出しを行います。
- 安全・安心のバーコード認証による患者様確認を行います。
- 採尿室を洋式化し、利用しやすく改装しました。
- 明るく快適な待合室です。



#### 採血採尿受付機

- 患者さんが診察券を差し込むだけの簡単操作。
- アニメーション画面表示と音声でわかりやすくご案内します。

採血整理券

採血整理券と尿カップが出ます。しばらくお待ちください

バーコードラベルが貼られたVINカップ



## New 新 骨密度測定のご紹介

平成29年10月に、放射線画像科では、X線骨密度測定装置を DichromaScan DCS-900FX (日立ヘルスケア社製) に更新しました。

骨密度とは、単位体積あたりの骨量 (g/cm<sup>2</sup>) で、カルシウムやマグネシウムなどのミネラルが骨にどれくらい含まれるかの指標になります。20代でピークとなり、徐々に減少していきます。また女性の場合、更年期をむかえると女性ホルモンの低下によって、男性よりも急激に減少すると言われています。

今回、導入されたDCS-900FXでは、

日本骨粗鬆症学会の骨粗鬆症診断のガイドラインでも推奨されている、DXA法による腰椎撮影と大腿骨撮影が可能です。

DXA法とは、dual-energy X-ray absorptiometryの略称で、エネルギーの低い2種類のX線を使用して骨密度を測定する方法で、以前は前腕骨(腕の骨)で測定をしていました。

DXA法による腰椎撮影と大腿骨撮影では、以前より精度、診断価値の高い検査となります。また、前腕骨測定よりも、検査の準備や検査に時間がかかってしまうため(着替えなど含めて15分くらい)、予約制とさせていただきます。

放射線画像科 瀧野 和久



# Neurosurgery

## 脳神経外科



副院長・脳神経外科部長  
飯田 秀夫  
い だ ひ で お

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医/日本脊髄学会外科学会認定医/身体障害者福祉法指定医(肢体不自由)/難病指定医/日本人間ドック専門医/認知症サポート医 他

### 略 歴

昭和56年	北里大学医学部 卒業
昭和56年	北里大学病院脳神経外科入局
昭和61年	国立病院機構相模原病院
昭和63年	北里大学医学部脳神経外科研究員
平成2年	北里大学医学部脳神経外科講師、北里大学病院救命救急センター
平成6年	国際親善総合病院
平成8年	同 脳神経外科部長
平成18年	同 脳神経外科部長・救急部部長兼務
平成20年	同 副院長・脳神経外科部長

### はじめに

国際親善総合病院では、常勤医として日本脳神経外科学会指導医 飯田秀夫部長・谷崎義徳医長・日本脳神経外科学会専門医 馬淵一樹医長3名、神経内科専門医 三富哲郎部長1名にて脳血管障害を中心に、変性疾患、中枢神経感染症、頭痛、痙攣、内科疾患に伴う神経障害、

腫瘍、脊椎変性疾患、外傷(頭髄損傷含む)等の様々な疾患に幅広く対応しています。また、放射線技師が24時間常在し64列CTが稼働、さらに平成30年4月には3T(テスラ)MRIが導入され24時間撮像可能になります。今後、画像検査が診断の一助となることが期待されます。脳血管障害、外傷などの緊急神経疾患の発症に対しても、

### 主な疾患について

● 脳血管障害：脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血などが含まれます。病態に応じた抗血小板治療や抗凝固療法に加え、血圧、血糖、脂質のコントロールなど全身管理を行います。手術は開頭クリッピング手術などの急性期手術の他に、閉塞した血管を広げた

り、狭窄した血管のバイパス路を作るといった慢性期の手術も行っています。また、後遺症がある場合はリハビリテーションを行い日常生活への早期復帰を目指します。

● パーキンソン病：脳内のドーパミンが不足するため、徐々に手足がこわばり動きにくくなる病気です。早期の薬物治療が大切ですが、類似の疾患が多いため正確な診断が重要です。日常生活が困難な場合は、入院して薬剤の調整やリハビリを行います。

● 脳腫瘍：良性腫瘍である聴神経腫瘍、髄膜腫や下垂体腺腫に対し顕微鏡や内視鏡を使用しながら開頭腫瘍摘出、経鼻腫瘍摘出を行います。術後も外来にて再発の有無や抗痙攣薬の調整、ホルモン剤の処方などフォローを行っています。

● 頭部外傷：頭皮裂傷の縫合や急性硬膜下血腫などに対しては全身麻酔下で急開頭血腫除去術を行います。手術後は集中治療室で頭蓋内圧コントロールを中心に急性期治療を行います。

神経疾患に携わる多職種連携で、入院前には外来看護師、入院後は病棟看護師を中心に、患者さんの身体的・社会的な問題のケアを行います。また入院中のカロリー・塩分・脂質制限や退院後の食事内容については専門の管理栄養士が栄養相談として指導します。これは脳血管障害の原因である脳動脈硬化の予

防につながります。入院中の薬剤適正使用や薬物相互作用の有無などは、各病棟の薬剤師が24時間チェックしています。当科では入院後早期からリハビリを行います。それぞれの症状に対応して理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が個別のプログラムに沿って行います。他病院との連携の他にも自宅退院する方の療養環境整備のため、介護保険や後遺症診断書などの社会制度内容についてわからないことがあれば、地域医療連携室の



神経系回診の様子

ソーシャルワーカーや退院調整看護師にご相談ください。

神経回診は毎週水曜日の14時から行っており、様々な職種のスタッフで入院患者さんについて、多面的に検討しております。各専門職職が知識を出し合い、意見を交換して、患者さんにとってより良い環境を提供できるよう考えて参ります。

### 最後に

神経系疾患の頻度は、癌や肺炎、心臓疾患に比べると少ないため身の回りであまり経験することがありません。ご自身やご家族に起きてしまった場合、どうしたらいいのか不安になると思います。国際親善総合病院では、各種専門職員が様々な問題に対し真摯に対応させていただきます。今後も地域の中核病院として患者さんやご家族、地域の開業医の先生方にご信頼いただけるよう精進する所存です。のでよろしくお願いたします。



カンファレンスの様子

INTERNATIONAL



### はじめに

脳卒中とは、「卒然(突然)として邪風にあたる」ということです。昔の人は風に吹かれて突然倒れてしまうように、寝たきりになったり、手足が動かなくなったりする原因を風と考えていました。現代では、脳血管障害により突然発症する病気のことを意味しています。大きく分類すると、脳血管が狭くなったことによる虚血性疾患と、脳血管が破れてしまう出血性疾患に分けられます。

今回は、虚血性疾患としてアテローム血栓性脳梗塞と心原性脳梗塞、出血性疾患としてクモ膜下出血について説明させていただきます。

#### アテローム血栓性脳梗塞

アテローム血栓性脳梗塞は、脳内の直径3〜6mmの比較的大い血管が、アテローム硬化(動脈硬化)により詰まってしまふ病気で、これにより詰まってしまった場所に依り、手足が動かせなくなったり、異常感覚が出現したり、眼が見えなくなったり、言葉が上手くしゃべれなくなったり、意識が悪くなったりします。そこで救急車やご自身で病院を受診することになります。以上の症状

が確認されれば、採血や、画像検査(CT、MRI)が行われます。その後、症状の程度や発症からの時間、合併症などの有無を確認し、治療方法が決定されます。主な治療は、詰まった血栓を溶かす血栓溶解療法、これ以上血管が詰まらないようにする抗血小板療法、脳の浮腫をとる抗脳浮腫療法、脳保護療法などがあげられます。その後状態が落ち着いたら後も、発症早期からリハビリを開始し日常生活に1日でも早く復帰することを目指します。このように一旦発

## 脳卒中のお話し

脳神経外科医長 谷崎 義徳

症すると一定期間の入院も必要となり、後遺症が残る可能性もあります。危険因子をコントロールすることにより発生率を抑えることもできます。危険因子としては、高血圧、糖尿病、脂質異常、脱水があげられます。どれも日常生活を行う上では症状が無く目に見えませんが、健康などで指摘された場合には、ご自身の生活上に気を付けていただくこと、お近くの病院で一度相談していただく必要があると思われる。

#### 心原性脳梗塞

心原性脳梗塞は、心臓の中に出来てしまった血栓が何らかの拍子にはがれ血流に乗り、脳の血管を詰まらせてしまふ病気で、この病気は、不整脈(心房細動)を持っている人におきやすい病気で、比較的大い血管が詰まることが多く、半身麻痺や、失語が突然起こることが特徴的です。治療は、アテローム血栓症と似ていますが、大きく違うところは、抗血小板療法(バイアスピリンなど)ではなく、抗凝固療法(ヘパリンやワーファリン)が用いられます。これらの治療の詳細な違い

#### クモ膜下出血

最後のクモ膜下出血ですが、この病気も比較的大い血管にできた動脈の瘤が破裂する病気で、煙草を吸っている人や、血圧の高い人、血縁者がくも膜下出血になった人、腎臓に嚢胞を指摘された人、中年の女性に多いといった特徴があります。症状は突然の強い頭痛で発症し、嘔吐や麻痺、意識障害を伴うことがあります。症状の程度に応じて、手術療法や血管内からのカテーテル治療により再破裂の予防を行います。しかし、この病気の怖いところは、大き

な治療が終わった後も脳の血管が細くなったり(脳血管攣縮)、脳に髄液が貯留したり(水頭症)してしまうことです。術後から脳血管攣縮の予防薬を投与しますが、2週間は突然脳梗塞になってしまう危険性があります。また、術後数週、数ヶ月経過し、徐々に認知機能が低下し、さらに意識レベルが低下した場合には、水頭症にたいして改めて手術が必要になることがあります。

クモ膜下出血は、脳神経外科で扱って頂く疾患の中で最も怖い病気ですが、一旦発症した場合には一つ一つの治療を迅速・的確に行うことが重要であり、緊急に治療できる病院での対応が必要となります。

脳卒中は広い範囲の疾患を含みますが、今回は3つに絞って説明させていただきます。まだまだ説明が足りないこともありますが、大切なことは、健診結果から発症前に危険因子を予防すること、発症した場合には迅速・的確に病院を受診すること、発症後にも内服を継続し再発を予防することをあげさせていただきます。

## 乾燥性湿疹

### のお話 (カサカサ肌対策など)

#### 1. 乾燥性湿疹とは

皮膚の表面の脂(あぶら)いわゆる皮脂)が減少したために生じる湿疹のことです。もともと、皮膚のうるおい(水分)を保つために皮脂、天然保湿因子、角質細胞間脂質がお肌には存在しています。しかし、加齢や秋冬の空気の乾燥によって、これらのうるおい成分は減少してしまいます。そうなるとお肌はうるおいが保てな



#### 2. 治療法

かなり、角質がはがれて白い粉がふいたようにカサカサになり、赤みやかゆみも出てきます。

保湿と皮膚の炎症をおさえる塗り薬が効果的です。化粧水・乳液でたっぷり保湿したあとに、保湿剤のクリームや軟膏のお薬(非ステロイドまたはステロイド)を適量塗りましょう。

冬に多いかかとのガサガサも、入浴後できれば5分以内に少し多めにボディクリームを塗ると、べたつかずにきれいになりますよ。

## インフルエンザの対策 予防接種などについて

毎年、冬にまん延するインフルエンザ。インフルエンザ予防対策についてご紹介します。

#### ポイント1「睡眠」

発症には免疫力が大きく影響します。5時間以下の睡眠ではインフルエンザの発症リスクが高くなるという研究報告があります。日頃から十分な睡眠をこころがけてください。

#### ポイント2「栄養」

バランスのよい食事が大切です。野菜類、蛋白質、果物に含まれるビタミンA、B、Cをしっかりと摂ることが免疫力の強化につながります。

#### ポイント3「マスク」「手洗い」

マスクの着用で湿度が90%以上に保たれるのでウイルスを寄せつけない役目をしてくれます。ま

#### ポイント4「加湿」

気温20℃以上、湿度50〜60%を維持することで感染率が大幅に抑えられます。加湿で乾燥を防ぎましょう。

#### インフルエンザ予防接種

幼児や高齢者、持病がある場合、予防接種により発病を減らす効果があります。免疫がつかまで約2〜4週間かかりますので流行前の早めの対策が大切です。

日頃からウイルスに負けない体づくりと防御に努めましょう。



# 成

## 私のワンツッ! ダフルライフ☆



**森田 晃造**  
整形外科医長  
今年もナンバーワンの手・肘の治療を受診していただいた皆様にご提供できるような努めます!



**北川 智章**  
理学療法士  
楽しみハリハリして頂けるよう、いつもコミュニケーションと笑顔を大切にしています。



**豊田 歩**  
4A病棟看護師  
超低燃費!冬はもっばらヒザまんと鍋で生きています。



**田中 梨恵**  
感染管理認定看護師  
感染予防は綺麗な手から!感染症蔓延防止のために一生懸命頑張ります!



**村松 由紀**  
2C病棟看護師  
早寝、早起き、朝ごはん、2018年もがんばります!



**石川 大輔**  
医事課  
感謝の気持ちを忘れず、健康を第一に食事制限と運動をして元気に頑張ります!



**古本 康**  
2A病棟看護師  
成のように駆け回り、怪我をしないよう仕事もプライベートも頑張っています!



**石塚 敬子**  
外来B看護師  
呼び出しあっても地下2階から4階まで息を切らさず上げれるようになります!



**山崎 充代**  
2C病棟看護師  
少し人見知りですが、心を開けばシッポを振ってついていきます!笑顔溢れる一年にしたいです。



**千塚 あやめ**  
2A病棟看護師  
ワン!ランク上を目指して3年目ナースも女子力アップも頑張ります☆

## 看護部 NEWS ~2~

2017年8月に全病棟の再整備が終了しました。新しくなった病棟を毎号リレー形式で紹介していきます。

### 新棟のご紹介

成長を間近で感じながら先輩看護師も一緒に学び成長しています。3階フロアとして、A・B病棟共に協力し助け合いながら今後頑張っていきたいと思えます。

3A病棟看護課長 倉田 弥生  
3B病棟看護課長 新 陽子



### スタッフステーション

3階には3A病棟(泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、神経内科)、3B病棟(脳神経外科、整形外科)があります。  
3A病棟は、手術を受けられる患者さんが多いことが特徴です。入院期間中に、安心して手術を受けて頂けるよう患者さんと向き合い、良い看護が提供できるように日々頑張っています。10月には神経内科も加わり、新たな病棟としての気持ちを持ってスタートしました。  
3B病棟は日常生活に支援が必要な患者さんが多い病棟です。医師・看護師だけでなく、薬剤師、理学療法士、作業療法士、栄養士、医療相談員など他職種と連携を取りながらより良い看護が提供できるよう日々努力しています。また、退院後の生活を見据えながら患者さんとご家族に関わっています。  
新人看護師は毎年配属され、その

### 親善病院の部活動紹介③

## 書道教室



昨年4月から書道教室を立ち上げました。活動は月2回。毛筆(漢字、かな)、ペン字など何でも希望する好きなものができます。自分のやりたいことを自由にやっていくスタイルで楽しく和やかな同好会です。目標は個人で異なると思いますが、書道教室の当面の目標は「院内展」です。忙しい毎日のひととき「書」を楽しみましょう!!



## 皆さまからの声

ご意見箱にいただいた皆さまからの声を一部ご紹介いたします。

清拭のタオルは顔用と下半身用が色分けされて別々の使い道になっている方が気持ちが良いと思いました。(女性・入院)

貴重なご意見ありがとうございます。顔用と下半身用は、使い捨てタイプのクロスを使用しております。説明不足でご不快な気持ちにさせてしまい申し訳ございませんでした。

いつも面会で来ているが、夜になると駐車場が暗いので足元が見えにくいから、もう少し明るくしてほしい。(付添・見舞客)

ご不便をおかけして申し訳ございませんでした。事故防止と防犯対策のため、駐車場の照明を水銀灯からLEDに変更し、明るくなりました。O 今後とも利用しやすい病院づくりを目指してまいりますので、お気付きの点がございましたらお気軽にスタッフにお申し付けください。

✓循環器科    ✓消化器科    ✓胃腸科    ✓腎臓科

横浜市営地下鉄 踊場駅 3番出口  
徒歩5分

# 小林内科クリニック



小林 英雄 院長

市営地下鉄踊場駅から徒歩5分の場所にある診療所です。平成3年に一般内科診療所として開業しました。

開業当初から泉区内の基幹病院である国際親善総合病院には大変お世話になっています。緊急な状態の患者さんの受け入れや、診断、治療などの困難な患者さんを紹介させていただき、適確に対処していただいています。患者さん方の信頼、利便性を考えてこれからも各科の先生方と密に連携を図りながら診察をしていくつもりです。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~ 12:00	○	○	○	—	○	○	—
15:00~ 18:00	○	○	○	—	○	—	—

## 小林内科クリニック

〒245-0014 神奈川県横浜市泉区中田南 2-2-2  
TEL: 045-801-2551  
045-801-7522 【外来自動予約専用】  
ホームページ: <http://www.kobayashinaika.jp/>



## 管理栄養士の

# れしび メデイカル

Recipe  
No. 14

## 作り方

- ① 鶏肉に、塩・こしょう・酒をふり、火が通るまで蒸す。
- ② オリーブオイルで玉葱・ピーマンを炒め、調味料を加えてソースを作る。
- ③ ①に②のソースをかけて、塩茹でしたブロッコリーを付け合わせる。



## アミノ酸で代謝アップ! 蒸し鶏のトマトソースがけ

### 材料 (1人前)

★鶏胸肉皮なし=80g    ★塩=0.2g  
★こしょう=少々    ★酒=大匙1杯  
【トマトソース】★玉葱=60g    ★ピーマン=5g  
★オリーブオイル=2g (調味料★トマトケチャップ=15g  
★塩=0.3g    ★こしょう=少々    ★水=小匙1杯)  
【付け合わせ】★ブロッコリー=50g    ★塩=0.2g

### 栄養価 (1人前)

エネルギー 160kcal  
蛋白質 20.0g  
脂質 3.5g  
塩分 1.0g

年末年始、食べたり、飲んだりしながら、家でのおんびり過ごされた方も多いと思います。その結果、増えてしまった体重を戻すために苦労されている方もいらっしゃるのでは？

運動不足で刺激を受けない筋肉は、だんだん衰えてきます。筋肉量が減ると、基礎代謝（生命維持のための必要最低限のエネルギー）が低下し、太りやすい体質になってしまいます。筋肉維持の為には日頃の運動も大切ですが、筋肉の成分、蛋白質を構成するアミノ酸の摂取も必要です。

アミノ酸を多く含む食品は、肉類・魚介類・乳製品などがありますので、毎食1品は摂り入れましょう！



栄養科長 (管理栄養士)  
高澤 康子

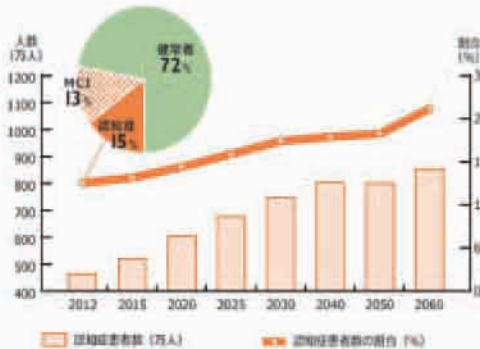




# れんけい ニュース

地域医療連携部よりおとどけいたします

RENKEINEWS No.3



<65歳以上の認知症の割合と患者数の推移>

人間の脳は活動をコントロールしている司令塔です。脳細胞の働きが悪くなったり、色々な原因で障害が起こり、生活するうえで支障がおよそ6か月以上継続している状態を「認知症」といいます。

2025年には高齢者5人に1人が認知症に該当すると推測されています。急性期病院においても認知症をもつ高

## 「認知症」とは

# 認知症ケアチームの紹介

高齢者が身体疾患で救急搬送され、一般病床で受け入れるケースが増え、認知症ケアが不可欠な状況です。

このため当院では、平成29年4月より、院内における認知症ケアの実践力の定着と質の向上を図るために「認知症ケアチーム」を設置しました。認知症ケアチームは、認知症看護認定看護師の宮代みどり看護師・認知症サポート医の飯田秀夫医師を中心と



<認知症ケアチームのスタッフ>

し、薬剤部・医事課・リハビリテーション科・看護部から代表を選出し、計22名で構成しています。認知症の進行予防や円滑な身体疾患治療に向けた環境調整など認知症者への適切な介入を目的として、チームでサポートをしています。

主な活動内容  
認知症及び認知症ケアに関する正しい知識に基づく

- ① 対応方法
- ② 治療方法
- ③ 身体抑制の有無
- ④ 相談や指導教育



入退院支援室 主任看護師  
永嶋 旬

## 地域医療連携部

## 自己紹介リレー

明ましておめでとうございませう。群馬県出身、横浜育ち。ベイスターズ大好きです。退院調整看護師になり2年目となりました。日々勉強し、地域の皆さまの力になれるよう頑張ります。

次回は  
医療ソーシャルワーカーの  
戸上美希子さんです。

今後の予定  
「認知症サポーター養成講座」  
を開催します。

を行っています。これにより認知症者の尊厳を守り、認知症者が最善の医療を受けられ、持てる力(残存機能)を発揮し、その人らしく安心して穏やかな療養生活を送ることを目指しています。また、入院早期より退院を見据えた支援を行い、認知症者や家族が地域で住みやすい環境をサポートできるように取り組んでいきたいと思っています。

地域住民や近隣の施設の方々との密接な関係を構築し、認知症者とそのご家族が住みやすい地域がつけられるように努力していきたいと考えております。